

吹田市税務システム標準化対応等支援業務委託事業者プロポーザル選定委員会 議事要旨

第1回 吹田市税務システム標準化対応等支援業務委託事業者プロポーザル選定委員会															
開催期間	令和4年4月8日(金) 13時30分～14時まで														
開催方法	対面会議方式														
案件	1 吹田市税務システム標準化対応等支援業務委託事業者プロポーザル実施要領について														
出席者	<p>【委員】</p> <p>税務部 税務部次長(委員長)</p> <p>税務部 税制課長(副委員長)</p> <p>行政経営部 情報政策室主幹</p> <p>市民部 市民課参事</p> <p>福祉部 高齢福祉室主幹</p> <p>【事務局】</p> <p>税務部税制課</p>														
<p>議題 吹田市税務システム標準化対応等支援業務委託事業者プロポーザル実施要領について</p> <p>事務局から実施要領(案)に係る説明を行い、以下の議論の結果、決定事項の修正を加えることを条件に承認された。</p>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>委員からの意見</th> <th>回答及び決定事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施要領 p1 業務内容に「税務事務業務再構築(BPR)支援」とあるが事務委託のことか。</td> <td>そのとおり。早期に取り組める委託業務があるかという検討になる。</td> </tr> <tr> <td>実施要領 p2(6)について、吹田市は現在中核市となっているので、中核市での実績を求めたい。</td> <td>中核市と限定してしまうと、実績のある事業者が限定されてしまう。</td> </tr> <tr> <td>参加資格について、吹田市他部署での契約のある事業者は参加できるのか。</td> <td>制限はしていない。</td> </tr> <tr> <td>評価委員会は設置しないという認識でよいのか。庁内各部署と足並みをそろえたほうがよいのでは。</td> <td>庁内関係課と調整した結果、主管課で判断している。</td> </tr> <tr> <td>審査評価項目について、合計点が260点となっていたり、一つの審査項目が配点20点であったりするがどのような基準で設定したのか。</td> <td>庁内の類似業務での実績を参考にしており、点数の配分は多少変更している。</td> </tr> <tr> <td>学識経験者からの指摘はあったのか。</td> <td>価格点についての指摘はなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	委員からの意見	回答及び決定事項	実施要領 p1 業務内容に「税務事務業務再構築(BPR)支援」とあるが事務委託のことか。	そのとおり。早期に取り組める委託業務があるかという検討になる。	実施要領 p2(6)について、吹田市は現在中核市となっているので、中核市での実績を求めたい。	中核市と限定してしまうと、実績のある事業者が限定されてしまう。	参加資格について、吹田市他部署での契約のある事業者は参加できるのか。	制限はしていない。	評価委員会は設置しないという認識でよいのか。庁内各部署と足並みをそろえたほうがよいのでは。	庁内関係課と調整した結果、主管課で判断している。	審査評価項目について、合計点が260点となっていたり、一つの審査項目が配点20点であったりするがどのような基準で設定したのか。	庁内の類似業務での実績を参考にしており、点数の配分は多少変更している。	学識経験者からの指摘はあったのか。	価格点についての指摘はなかった。
委員からの意見	回答及び決定事項														
実施要領 p1 業務内容に「税務事務業務再構築(BPR)支援」とあるが事務委託のことか。	そのとおり。早期に取り組める委託業務があるかという検討になる。														
実施要領 p2(6)について、吹田市は現在中核市となっているので、中核市での実績を求めたい。	中核市と限定してしまうと、実績のある事業者が限定されてしまう。														
参加資格について、吹田市他部署での契約のある事業者は参加できるのか。	制限はしていない。														
評価委員会は設置しないという認識でよいのか。庁内各部署と足並みをそろえたほうがよいのでは。	庁内関係課と調整した結果、主管課で判断している。														
審査評価項目について、合計点が260点となっていたり、一つの審査項目が配点20点であったりするがどのような基準で設定したのか。	庁内の類似業務での実績を参考にしており、点数の配分は多少変更している。														
学識経験者からの指摘はあったのか。	価格点についての指摘はなかった。														
以上															

第2回 吹田市税務システム標準化対応等支援業務委託事業者プロポーザル選定委員会	
開催期間	令和4年5月16日(月)13時00分から5月17日(火)正午まで
開催方法	庁内グループウェア上の電子掲示板への投稿による非対面会議方式
案件	1 プロポーザルの参加表明の状況及び今後の進め方について
出席者	<p>【委員】</p> <p>税務部 税務部次長(委員長)</p> <p>税務部 税制課長(副委員長)</p> <p>行政経営部 情報政策室主幹</p> <p>市民部 市民課参事</p> <p>福祉部 高齢福祉室主幹</p> <p>【事務局】</p> <p>税務部税制課</p>
<p>議題 プロポーザルの参加表明の状況及び今後の進め方について</p> <p>吹田市税務システム標準化対応等支援業務委託事業者プロポーザルについて、参加事業者の募集を令和4年4月19日(火)午前9時から同年5月13日(金)正午の期間行ったが、参加表明事業者がなかったため、募集要項9ページ「6 企画提案者が1者又はない場合」に従い、本プロポーザルをとりやめることを説明した。特に意見がなかったため、本件については承認された。</p> <p>なお、再募集を行うかどうかについては、事務局にて情報収集を行ったうえ、選定委員会にて諮ることとした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

第3回 吹田市税務システム標準化対応等支援業務委託事業者プロポーザル選定委員会	
開催期間	令和4年6月9日(木) 14時～14時30分まで
開催方法	対面会議方式
案件	1 吹田市税務システム標準化対応等支援業務委託事業者プロポーザル実施要領について
出席者	<p>【委員】</p> <p>税務部 税務部次長(委員長)</p> <p>税務部 税制課長(副委員長)</p> <p>市民部 市民課参事</p> <p>福祉部 高齢福祉室主幹</p> <p>【事務局】</p> <p>税務部税制課</p>

議題 吹田市税務システム標準化対応等支援業務委託事業者プロポーザル実施要領について

事務局より再募集する理由について、以下のとおり説明を行った。

令和4年5月13日を期限とする募集については応募者がなかったため、調達を終了した。以降、取組について検討する中で、全国的に同様のコンサル業務の調達が実施され、各事業者のリソースに変化が出てきている状況や、システム標準化のスケジュールを鑑み情報政策室と協議を行ったところ速やかに再募集を進めることが望ましいとの意見があったことから、前回の仕様書の内容を維持しつつ、契約締結予定日について当初の8月1日から9月1日に変更を行ったうえで再募集を行うこととする。

また事務局から本実施要領（案）に係る説明を行い、以下の議論の結果承認された。

委員からの意見	回答及び決定事項
税務システム標準化対応の調達は令和5年度予算で行うと思うが、事業者との契約時期が9月となると予算要求が厳しくなるのではないか。	当初の計画から1か月遅れでの契約となるため、確かに時間的余裕は厳しいと考えるが、契約までに職員で予算要求に向けた課題整理等を先行して行い、契約後の業務を円滑に進めることで、影響を小さくする努力を行う。

以上

第4回吹田市税務システム標準化対応等支援業務委託事業者プロポーザル選定委員会	
開催期間	令和4年7月27日（水） 13時00分から14時30分まで
開催方法	対面会議方式
案件	1 二次審査（プレゼンテーション・質疑応答） 2 価格審査結果の報告 3 最優秀提案者の選定
出席者	【委員】 税務部 税務部次長（委員長） 税務部 税制課長（副委員長） 行政経営部 情報政策室主幹 市民部 市民課参事 福祉部 高齢福祉室主幹 【事務局】 税務部税制課

議題1 二次審査（プレゼンテーション・質疑応答）

事務局より二次審査の時間配分及び質疑応答について説明後、企画提案者の二次審査を実施した。プレゼンテーション後は提案内容に基づき、主に支援体制や実績に関する質疑応答を行った。

委員からの意見	回答及び決定事項
本市で同種業務の実績があるとのことだが、4年間の経験の中で、もう少しこうすればよかったなどの課題点はあったか。	人材育成やシステム導入のノンカスタマイズの実現など、4年前に想定していたものはほぼできたと考えている。コロナの影響でスケジュール的に少し遅れたことにより、AI-OCRのフォローが委託期間終了までにできなかったが、それについても職員のスキルがあがっていたお陰でうまくいっていると考えている。
今現状、GAPの対応など、他市町村で想定外のことはあるか。	税についてはまだ始めたばかりではあるが、想定ではGAPが大きいと考えており、概ね想定どおりであった住記に比べると難易度は高いと考えている
Fit&Gapについて、システム部分については主に業務ベンダーが実施し、業務の部分について主にやってもらえるという認識でいいか。	業務面でのGAP対応について、BPRも含めてこちらで対応する想定。システム部分については業務ベンダーでという前提だが、GAPについてどう対応するかについては、こちらで検討する。
RPAを進めるにあたって、提携している事業者などはあるか。	提携している事業者は特にはないが、それぞれの製品の特性は理解しているので、システムとの相性なども分析しながら決定していきたいと考えている。
システム標準化にあたり、来庁頻度はどれくらいであればうまくいくと考えているか。	月次会議や事務局会議はすべて来庁と考えている。ワーキンググループでのヒアリングなど、来庁が必要なケースを見極めたうえで、オンラインを含めた対応となる。受入テストなどはもちろん来庁で対応する。
他県でも税業務のコンサルティングをされているとのことだが、オンラインでも問題なく意思疎通はできているのか。	吹田市ではオンラインでも問題なくできているが、どの市町村でも同じというわけではない。対面の方がよい場合は、もちろん来庁するので、どちらがいいか調整しながら進めていければと思う。
本市で複数の業務を受注しているが、リソース的には問題ないのか。GAP対応が想定以上だった場合でも対応できるのか。	必要となった場合は投入できる人員は確保できる。今回の体制は、システムというよりは税業務自体に重きを置いた人員配置をしてお

	り、自治体での税業務経験者などをメンバーとして、業務面のサポートをしっかりとできるような体制を組んでいる。
体制について、コロナがなかなか収束しないなか、どのような体制を検討しているのか。	オンラインでの対応が可能であるため、業務が大きく止まるということは考えにくい。ただ、開発事業者については、遅延が考えられるため、それについてはリスクとして含んでおく必要があると考えている。
税は税目によって分野が異なるが、どのような体制で考えているか。	ワーキンググループは税目ごとの縦割りで体制を組んだうえで、月次会議で全体調整を図っていきたい。
業務とシステムのGAPに対応するため、RPAについて提案されているが、RPAになじまないものについての対応で何か考えているものはあるか。	一般的にはローコード開発などもあるが、現状で行くと、マイナンバー利用事務系では使えないため、ツールやOCRで対応できるようにしたい。
民間への業務委託の実績はどの程度あるのか。	吹田市では介護保険での事務委託について実績があり、他市ではシステムとは別にBPRの案件で対応した事例が複数ある。

審査後、各委員の審査結果を集計し報告した。

議題2 価格審査結果の報告

事務局より提案事業者の見積価格及びその価格審査結果を報告した。

議題3 最優秀提案者の選定

事務局より価格審査結果を加算した各委員の点数を報告した。

「有限責任監査法人トーマツ 大阪事務所」を最優秀提案者として決定した。

以上